

研究課題名	神経免疫疾患患者における高次脳機能と MRI パラメータを用いた脳萎縮に関する研究
研究期間	実施許可日 ～ 2028年 3月31日
研究の対象	2019年7月から2027年3月の間に、広島大学病院脳神経内科で診療のために頭部 MRI を受けた患者さんのうち、多発性硬化症 (MS) や視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD)、抗 MOG 抗体関連疾患 (MOGAD) 以外の方
研究の目的・方法	研究目的：神経免疫疾患である MS や NMOSD、MOGAD の患者さんに合成 MRI を用いて解析した脳萎縮と高次脳機能との関連を明らかにすることです。脳萎縮の評価には、神経免疫疾患以外の患者さんがコントロール群として必要です。 研究の方法：広島大学病院の倫理審査で承認を得ている研究 (E2023-0201, 頭部 MRI 検査における神経疾患の特性の検討) で、上記研究対象に該当する患者さんをコントロール群として、MS・NMOSD・MOGAD 患者さんの MRI パラメータと比較し、統計解析を行います。診療録から基本情報（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、病歴、内服状況）を収集します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、病歴、内服状況、MRI 検査結果など
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 脳神経内科

担当者：助教 内藤 裕之

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5201